

話題

街にひろう

高齢者に交通安全の呼び掛けを

1月22日、牛久市交通安全母の会がフジテレビの「おはよう茨城」の取材を受けました。

この番組は、県や警察、交通安全母の会連合会などによる各種交通安全研修会や戸別訪問を紹介す



高齢者宅の玄関前で交通安全を呼び掛ける交通安全母の会の方々

役所会議室でレポーターと打ち合わせの後、交通安全と書かれた黄色いたすきを肩から下げ、刈谷町の高齢者宅を訪問。簡単な反射力の実験をしたり、どういうときに特に注意が必要かなど、丁寧に交通安全を呼び掛けて回りました。この番組は2月3日の朝、放送されました。

牛久にゆかりの横綱誕生！

昨年11月の「第85回全国学生相撲選手権」個人戦で優勝した榎本翔太選手(東洋大学4年)の祝勝会が2月2日、市内で開催されました。

榎本選手は埼玉県草加市出身

ることにより、市民一人ひとりに対して交通安全思想の普及啓発を図ることを目的としています。

で、高校時代は東洋大学附属牛久高校相撲部で活躍しました。この日は100人を超える関係者や来賓が祝福に駆けつけ、優勝を決めた取り組みのビデオが流れると会場内からは大きな拍手が上がりました。

牛久での思い出を尋ねると「高校時代、相撲の稽古は辛かったが、基礎をしっかりと積み込まれたことが今回の優勝につながった」と懐かしそうに語りました。卒業後はプロ入りせずに就職し、実業団へ進んで相撲を続ける予定とのこと。今後は「実業団チームの勝利に貢献できるように、より一層稽古をしたい」と目標を語りました。



優勝の報告をする榎本翔太選手

「いもまん！」で祝卒業

市内小中学校の卒業生に贈る給食の「いもまん！」。これは昨年9月につくば調理製菓専門学校(今井恭子校長)で行われた「コンペ・メタモルフオーゼ2007」の参加作品です。惜しくも入賞は逃したものの、市の代表的作物であるサツマイモがテーマ。おいしく変身したサツマイモのために、桂町の株式会社中村屋つくば工場(菊池照雄工場長)の皆さんが採算を度外視し、大変な苦勞をして作ってくれました。この「いもまん！」は給食限定のレアもの。卒業生の皆さん、どうぞお楽しみに！

次回からは市内の小中学生全員が味わえる予定です。



問い合わせ 市農業政策課
☎873-2111内線1522

農業から

男女共同参画推進

2月4日、池田勝幸市長と稲敷地域農業改良普及センター長松本幸衛氏、牛久市農業委員会会長山越康義氏の立会いのもと、家族経営協定「我が家のきずな」調印式が行われました。(左写真)

この「我が家のきずな」は農家が家族内の約束事を文章にしたものです。家族全員の協力が不可欠な農家は、男女共同参画の模範と言っても過言ではありません。農業分野の男女共同参画推進委員会委員長中島清樹氏をはじめ各委員の努力により今年度は9組が締結し、市全体では27組となりました。無事に調印を済ませた後は、農業振興について熱い議論が繰り広げられました。



科学に触れ合い、楽しもう!

2月2日、市中央生涯学習センターで「うしくサイエンスフェスタ2008」が開催されました。大講座室では「カツパ大交流会」と題して、開会式や標語コンテストの表彰式、学校ビオトープから始まるまちづくり事業報告会を行いました。学校ビオトープから始まるまちづくり事業報告会では、中根小、向台小、神谷小、牛久三中の4校が、環境学習で取り組んだ成果をパソコンとスクリーンを使って発表しました。

サイエンス・ラボ・プログラムは、多目的ホールや展示ホールで行われ、発明クラブの折り紙を使った「紋切り」や地質標本館の「化石の粘土模型を作ろう」、岡田小の「蒸気船『ポンポン船』」など、たくさん子どもたちが参加。

文化ホールで行われた「ガリレオ工房」のサイエンスショーでは、風船を使った実験やダンボールを使った空気砲などを会場のみんなと一緒に体験し、会場はにぎわっていました。

みんなで地域で取り組んだ学校ビオトープ

「財団法人日本生態系協会会長賞」を受賞した神谷小学校の学校ビオトープ学習は、現6年生が4年生のころに始まり、主に総合的な学習の時間を利用して取り組んできました。NPO法人アサザ基金の飯島博さんから「生き物の目で自然を見ること」を教えてもらったり、地域の高齢者の方々に話を聞いたり、さまざまなボランティアの方々の協力を得たりしながら、学校東側の荒れた谷津田を20年ぶ

りに再生しました。

この谷津田の再生活動を始めてから、今までカエルなどを触れなかった児童が泥だらけになって生き物と親しく遊ぶようになりました。また、生き物だけでなくさまざまな「他者の視点」で身近な環境を見直す活動を行ってきた児童たちは、谷津田の維持や管理計画を通して、地域の人々をつないだり、これからの牛久のまちづくりを考えていけるまでに成長しました。

フクロウを観察しながら木のブローチを作る「自然を身近に感じよう」



学校ビオトープで使用している谷津田に手作りデッキを設置



【学校ビオトープ】水辺(人工的な池など)を作って、やってくる生き物を観察する場所のこと。

力を合わせて闘う防災

防災に対する意識を高め、家庭や地域における自主的な防災活動に積極的に参加してもらおうと1月20日、市中央生涯学習センターで「うしく防災ワールド2008」が開催されました。

池辺勝幸市長は「災害時に最初に動くのは地域の人々。防災に対する体制を整え、地域協力に基づく防災対策を確立しなければならぬ」と話しました。また、昨年引き続き、防災システム研究所所長の山村武彦氏(下写真)が「茨城県南

うしく防災ワールド2008

部地震に備える地域と我が家の防災対策」と題して講演しました。山村氏は「向こう三軒両隣という意識の共有が大事。同じ時代、同じ地域に住んでいるのも縁。助け合っ



マスオさんの声、増岡弘さんが講演

男女共同参画社会の実現に向け、市民に対して広く学習の機会を提供しようと2月2日、市保健



マスオさんの声も披露した増岡さん

センターで「牛久市男女共同参画公開講座」が行われ、アニメ「サザエさん」のマスオさん役でおなじみの増岡弘さんが「現代の理想の家庭とは」と題して講演しました。

増岡さんは、「サザエさんのような三世代の家族はいいもの」と話し、サザエさんの人気の秘密を「飲みごろのお茶」に例えました。

また、会場いっぱい170人の参加者に「今ある小さな幸せを感じてほしい」と語り掛けました。

ちょっと休憩

ぶれいく

このコーナーでは、市民の皆さんから寄せられたイラストや俳句、川柳などを紹介しています。なお、お便りには住所と氏名、電話番号を記入してください。また、匿名希望の方は、その旨記入してください。ペンネームもOKです。

あて先：〒300-1292牛久市中央3-15-1

「広報うしくちょっと休憩」係

Eメール shimin@city.ushiku.ibaraki.jp



皆さんのお便りから

☆：1月31日、市役所に用事があったて出掛けたところ、玄関で稀勢の里に会いました。「アツ稀勢の里だ」と思わず大声の私に大きな手で握手してくれました。初場所では1横綱3大関を倒して2度目の殊勲賞に輝きました。土俵上で見る力強い

南・犬塚さん



c.1.

表情ではなく、とても優しい笑顔の好青年でした。春場所(番付予想では小結稀勢の里として頑張っていて良い成績を、と願っています。昔、田舎ではお相撲さんに赤ちゃんや子どもを抱っこしてもらおうと元気に育つ、またお年寄りには背負ってもらおうと長生きすると言われていましたので、私も「おんぶしてください」とお願いしたところ、これならと真似事をしてくれました。そして優しく「長生きしますよ」と声を掛けてくれました。うれしかったです。稀勢の里関ありがとうございます。頑張ってください。

ペンネーム・海豚さん

短歌・俳句・山柳コーナー

枯草の かげで春待つ 露のとう

久野町 酒井さん

寒行に向う夜空に月冴えり

病床の友去りがたく雪国へ

小坂町 飯塚さん

木ツツキの 穴掘る音の もの凄く

桜の幹に 深く巣造る

ペンネーム 夢追人さん